2018年 10月号 Vol.21

MIKATIMES
福岡のミカタタイムズ

発行：学校から世界のミカタを考える会

忙しさという悪魔、マネージメントの大切さ

前回のミカタイムズでも取り上げましたが、九州最大級の国際協力イベントである「地球市民どんたく」の改革に当会は積極的に協力をしています。崩れてしまった組織、イベントなどを立て直すことの難しさを実感しながら、裏面の「育休とーちゃん」コラムにもあるゼロベース思考の必要性を感じているところです。

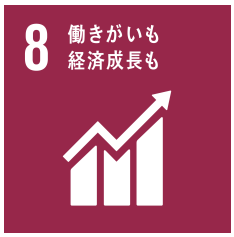
□　長年続けているから辞めるのは勿体無い

特に自治体が関わっているイベントなどで、予算のついているものの多くがこの考え方で動いています。そして、よくよく歴史を辿ってみると、続けること以外の目的が希薄なため、「成果」はありません。

□　長年続けているんだから辞めよう

成果目標を掲げて活動しているイベントであれば「長年」続ける価値があります。しかし、成果目標に対する意識もないまま続けているようなイベントについては思い切って辞めてしまうのも一つの選択肢です。

だから「もう終了しよう」という議論についても同時に行なっています。しかし、まだ諦めていません。なぜなら、「どうにかしよう」と思っている団体の数が増えてきているからです。



多くの団体が行動を始める中、変われない団体、課題意識の薄い団体が共通して「忙しい」という言葉を口にすることに気づきました。

「忙しさ」とは何でしょうか？　基準は内側にあるものです。

また、忙しさの原因を作り出すものも、多くの場合、内側にあります。

最近、メンバーの忙しさを理由になかなかまとまった時間が取れなくなってしまっている、自分たちへの自戒も込めて、今回は考えてみました。

地球市民どんたくって？

「地球市民どんたく」は福岡都市圏で活動する NGO、NPO、行政などの国際的な活動をしている機関が協働で企画運営する九州最大級の国際協力のイベント。

今年は、11 月１８日（日）に天神中央公園で開催されます。

今回のテーマは「SDGs」なので、世界のミカタも、市民にどのようにして SDGs 達成のための具体的アクションを促していくかについて現在メンバーで議論を深めています。

国際協力フェスタ
地球市民どんたく
international cooperation festival
～つながり合う世界と福岡～

育休と一ちゃん、「社会のミカタ」を語る！

第四話：ゼロベース思考

マイクロプラスチックの問題を解決するために、日本でもようやく飲食店がストローの使用を中止を表明するなど、具体的なアクションがみえ始めました。プラスチック製のストローの代わりに紙製や金属製のものに変えるのだとか。
（詳細は「マイクロプラスチック」などのキーワードで検索）

しかし、どうでしょうか？
「ストローの素材を何に置き換えるか」と考える前に、「そもそも、ストローって絶対にいるの？」って考えることもできますよね？
こういう考え方を「ゼロベース思考」といいます。

食べ物、飲み物、オモチャ…本当に何を買っても「梱包」という名前のプラスチックがついてきます。「普通の」生活を送るだけで驚くほど大量のプラスチックを消費していることに気づきます。これらのプラスチックは本当に、全部必要でしょうか？課題を解決するためにゼロベース思考が有効だと私は考えています。

もちろん、ゼロベースで議論するのは時間がかかるでしょうし、慣習を変えるのは大変なことです。
しかし、直面している課題を根本的に解決するには大切な過程だと思うんです。

前回「紙おむつか布おむつか」という記事を書いた直後に、友人から「オムツなし育児してるよー」と聞かされ愕然。オムツ問題一つとっても、ゼロベースで考えられていなかったことに気づきました。

あなたも発信しませんか？

あなたの実践や、ふと感じた疑問など、社会のミカタを変える記事を発信しませんか？
他団体による広報を兼ねた寄稿についても、随時受け付けております。
孤独に活動している人や団体がいましたら、ぜひご連絡をお待ちしております。
パートナーシップで目標を達成しましょう!!

※内容によってはお断りする場合もありますので、予めご了承ください。

QR コードからサイトに飛べます。
ミカタイムズのバックナンバーも読めるので、ぜひ訪問してね！！